

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
期末配当金支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417 (インターネットホームページURL) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】

2009年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公 告 方 法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
	電子公告アドレス： http://www.veriserve.co.jp/ir/epr/
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券・銘柄コード	3724

株式会社 ベリサーブ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号 西新宿三井ビル14F
TEL 03-5909-5700 (代表)

※Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
※その他の登録商標および商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。



verification service

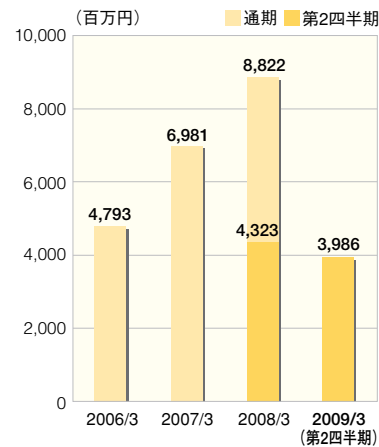
VERISERVE

第8期 中間報告書

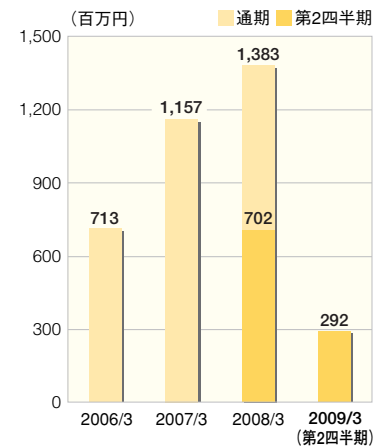
2008年4月1日～2008年9月30日

株式会社 ベリサーブ

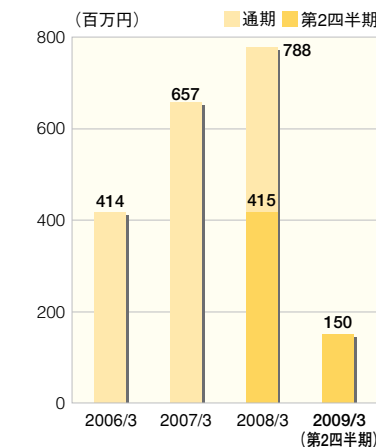
売上高



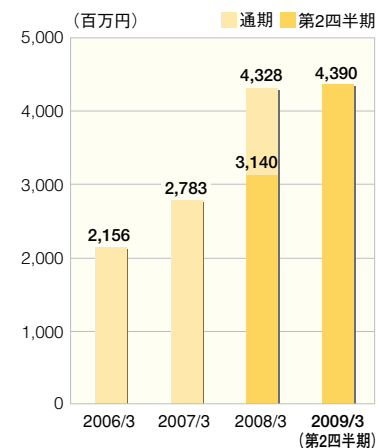
経常利益



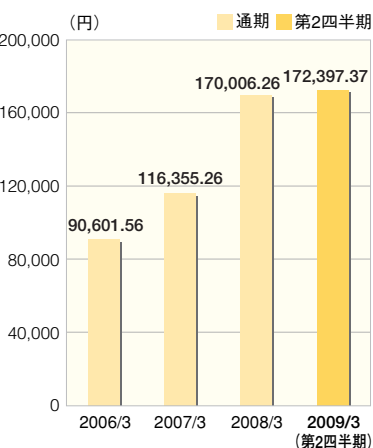
当期純利益



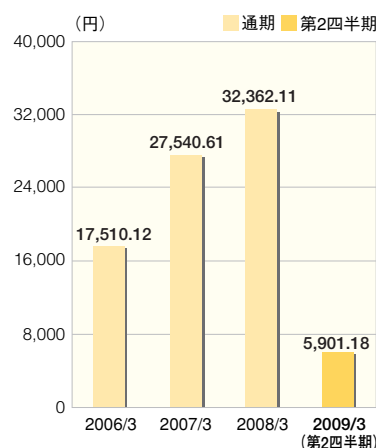
純資産



1株当たり純資産額



1株当たり当期純利益



検証事業の産業化を 目指してまいります。



代表取締役社長
浅井 清孝

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第8期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間においては、売上高39億86百万円、営業利益2億85百万円、経常利益2億92百万円、四半期純利益1億50百万円となり、誠に遺憾ながら当初見通しを下回る結果となりました。

これは昨今の世界経済の激変による当社顧客のコスト削減や北京オリンピック等のビッグイベントが終わり、新製品開発サイクルが一巡した影響を受け、前期に比べ検証業務が減少したことにあります。しかしながら、様々な製品にソフトウェアが組み込まれる潮流は変わりなく、また新製品開発は日本のメーカーにおける競争力の源泉であり、開発は継続し続けなければならないものと捉えております。

当社といたしましては、足元の営業力を強化しながら、今後の布石として当社の成長基盤である検証技術者の育

成ならびに新しい検証技術の研究をすすめていく必要があると考えております。当社では、「より効率的な検証」の提案を行い、お客様のパートナーとしての立場をより強固なものとするよう努力していく所存です。

また、金融発の経済環境悪化の中でも当社は健全な財務状況であり、着実に事業基盤の整備を行っております。金融商品取引法などに対応した内部統制システムの構築等、コンプライアンスを重視しながら、株主の皆様のご期待に添える体制の整備をすすめてまいります。

最後に、当第2四半期より中間配当を実施いたしたく、先般の取締役会において1株当たり1,500円の中間配当を決議いたしました。

今後も引き続き、株主の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年12月

Q 「システム検証セミナー」とはどのようなことをしているのでしょうか？

A 当社では、システム検証事業の知名度や認知度向上の一環として、ソフトウェアのテスト、評価への取り組みについて発表の場が必要であるとの考えから、設立当初より社外向けセミナーを行っております。

1回目は、「実践的製品検証セミナー」として開催し、その後、「システム検証セミナー」と名前を変え、毎年行っています。今年は、2008年9月5日（金）に「第8回システム検証セミナー」を東京品川ホテルパシフィック東京にて開催いたしました。今回のセミナー全体のテーマは「『検証効率の改善～プロセス改善によるコスト削減～』といたしました。

当日は、500名余りのお客様のご参集を賜り、各セッションにご参加いただきました。

キーノートセッションとして、基調講演をITS Japan常務理事の小出様に、「ITSの最近の動向」と題し、日本におけるITSの動向、日本各地で行われている実証実験や2030年に向けた長期ビジョン、また海外におけるITSの状況などについてのご講演を賜り、ITSにおけるソフトウェアの重要性などを改めて認識できました。



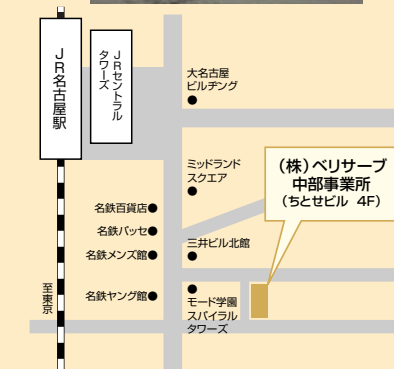
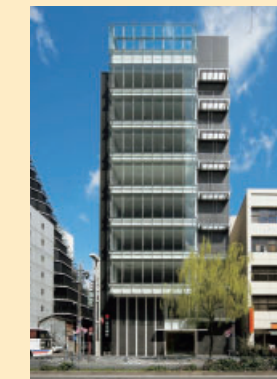
そして午後には、合計9つのセッションを開催いたしました。各社で行われている製品やソフトウェアの品質管理などの取り組みについて、ソニー株式会社様、株式会社アマダ様、日本オラクル株式会社様、パイオニア株式会社様の皆様からご講演を賜りました。また、ベリサーブでどのように効率的な検証を実現していくかなどの取り組みを説明させていただき、5つのセッションを実施いたしました。当日ご参加いただきましたお客様からは、高い評価をいただきました。今後も継続的にシステム検証の重要性を説明させていただく場を設けてまいりたいと考えております。



■ 中部事業所を開設いたしました。

2008年10月1日より新たに下記の場所に中部地区の営業拠点を開設いたしました。

〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13
ちとせビル4F
TEL 052-569-5840



当第2四半期決算概要

売上高

3,986 百万円
(前年同期比 7.8% 減)

経常利益

292 百万円
(前年同期比 58.4% 減)

四半期純利益

150 百万円
(前年同期比 63.9% 減)

当第2四半期の概要

当第2四半期累計期間（2008年4月1日～2008年9月30日）におけるわが国経済は、世界的な原材料価格の高騰や米国にはじまった世界的な金融不安が影を落とし、個人消費は減速感を増しており、景況感は弱まりつつあります。

当社を取り巻く環境においては、IT製品メーカーの製品開発意欲は旺盛なもの、昨今の景気動向を鑑み、慎重な姿勢をとりつつあります。

検証対象製品別に状況を見てもみると、デジタル化の進展スピードには、ばらつきが生じております。携帯電話分野では販売方法の多様化等により従来に比べ、買い換えサイクルが長期化する一方、次世代向け携帯電話の端境期となっております。ITS関連分野では、ポータブル・ナビゲーション・デバイスと呼ばれる可搬型カーナビゲーション・システムと高機能型カーナビゲーション・システムなどに分化し始めております。

また、家電分野においても来るべき地上波デジタル放送や高画質化などへの対応がすすんでおります。こうしたデジタル製品を制御するソフトウェアの更なる品質向上は急務となっておりますが、景況感の停滞により更なるコストダウン競争を加速させるように見受けられます。

一方、当社では従来の検証対象製品の他、高度化する精密機器などにもシステム検証ニーズはあるものと考えており、他の検証対象分野の開拓も行っております。また北米および欧州をターゲットとした製品の検証ニーズに対応するため、事業拡大の基盤を整備するとともに、システム検証の重要性と第三者的な立場での検証サービスの必要性をアピールしながら、顧客の開拓をすすめております。

当第2四半期においては「システム検証の重要性」を社外にアピールしていくための「システム検証セミナー」を開催し、500名あまりの参加をいただいております。ソフトウェア開発における検証の必要性や知名度向上に役立ったものと考えております。

一方、当社のサービスには、検証技術者の採用・育成は重要な課題と捉えており、引き続き、次年度以降の新卒技術者採用をすすめるとともに、技術者への専門教育を行い、検証技術の専門性の強化を図っております。

以上のような事業活動の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、3,986百万円（前年同期比7.8%減）、経常利益は292百万円（同58.4%減）となり、四半期純利益は、150百万円（同63.9%減）となりました。事業部門別の業績は右記のとおりとなっております。

事業部門別の概況

製品検証サービス

売上高 3,890 百万円 (前年同期比 8.0% 減)
 開発支援検証サービス 3,823百万円 (前年同期比 7.5% 減)
 認定支援サービス 28百万円 (〳 62.3% 減)
 検証情報サービス 38百万円 (〳 98.7% 増)

セキュリティ検証サービス

売上高 31 百万円 (前年同期比 35.2% 増)

その他のサービス

売上高 64 百万円 (前年同期比 9.6% 減)

1株当たり中間配当 1,500円

当社は、株主の皆様に対する利益還元は重要な経営課題のひとつとして認識しており、安定的な経営基盤の確保ならびに事業展開のための内部留保を勘案しながら、利益還元策を実施していくことを基本方針としています。この基本方針のもと、2008年10月30日の取締役会において、1株当たり1,500円の中間配当を実施することとしました。

四半期貸借対照表（要旨）

単位：千円

	当第2四半期 2008/9/30現在	前 期 2008/3/31現在		当第2四半期 2008/9/30現在	前 期 2008/3/31現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	4,803,745	5,005,870	流動負債	840,422	1,070,679
現金及び預金	3,489,265	2,873,302	買掛金	322,837	391,565
売掛金	1,096,637	1,158,509	未払金	24,095	5,197
① 有価証券	—	800,000	未払費用	124,378	104,512
仕掛品	11,680	25,582	未払法人税等	152,953	353,326
前払費用	95,122	45,793	未払消費税等	17,768	62,799
繰延税金資産	103,383	98,973	前受金	4,260	206
その他	7,655	3,710	預り金	12,548	10,072
固定資産	432,328	396,878	賞与引当金	180,000	143,000
有形固定資産	131,111	122,471	その他	1,579	—
無形固定資産	73,970	65,391	固定負債	5,552	3,200
投資その他の資産	227,246	209,016	役員退職慰労引当金	3,200	3,200
資産合計	5,236,073	5,402,749	その他	2,352	—
			負債合計	845,974	1,073,879
			(純資産の部)		
			株主資本	4,390,098	4,328,869
			資本金	779,335	779,294
			資本剰余金	763,085	763,044
			利益剰余金	2,847,677	2,786,530
			純資産合計	4,390,098	4,328,869
			負債純資産合計	5,236,073	5,402,749

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT① 有価証券

従来、国内法人の発行する譲渡性預金は「現金及び預金」に含め表示しておりましたが、前期より「中間（連結）財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」の取扱いに関する留意事項などに対応し、表示科目を「有価証券」としております。当第2四半期においては当該譲渡性預金が満期となったため、現金及び預金に繰り入れております。

「四半期報告制度」の導入における適用初年度の対応について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。適用される会計基準や用語などが、当四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なります。前年同期に係る数値は参考データとしてご確認ください。

四半期損益計算書（要旨）

単位：千円

	当第2四半期 2008/4/1~2008/9/30
売上高	3,986,313
売上原価	2,837,207
売上総利益	1,149,105
販売費及び一般管理費	863,405
営業利益	285,699
営業外収益	9,248
営業外費用	2,718
経常利益	292,229
税引前四半期純利益	292,229
法人税、住民税及び事業税	143,000
法人税等調整額	△ 1,037
四半期純利益	150,267

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：千円

	当第2四半期 2008/4/1~2008/9/30
② 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,870
③ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 88,869
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,432
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△ 184,036
現金及び現金同等物の期首残高	3,673,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,489,265

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT② 営業活動によるキャッシュ・フロー

これは主に税引前四半期純利益（292,229千円）により増加したものの、仕入債務の減少（68,727千円）および法人税等の支払（342,559千円）により減少したことによるものです。

（ご参考）

単位：千円

	前中間期 2007/4/1~2007/9/30
売上高	4,323,776
売上原価	2,923,942
売上総利益	1,399,834
販売費及び一般管理費	704,764
営業利益	695,069
営業外収益	16,542
営業外費用	9,559
経常利益	702,052
税引前中間純利益	702,052
法人税、住民税及び事業税	290,760
法人税等調整額	△ 4,673
中間純利益	415,965

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

（ご参考）

単位：千円

	前中間期 2007/4/1~2007/9/30
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 848,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,807
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	△ 666,919
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,175
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,689,256

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT③ 投資活動によるキャッシュ・フロー

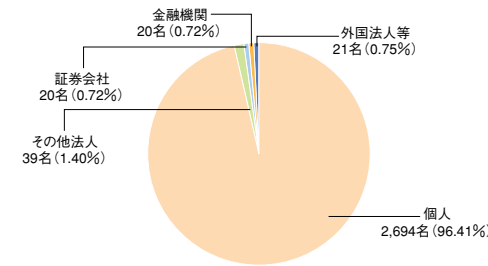
これは主に無形固定資産の取得（18,780千円）および敷金・保証金の支払（15,583千円）によるものです。

- 発行可能株式総数64,000株
- 発行済株式総数25,465株
- 株主数2,794名

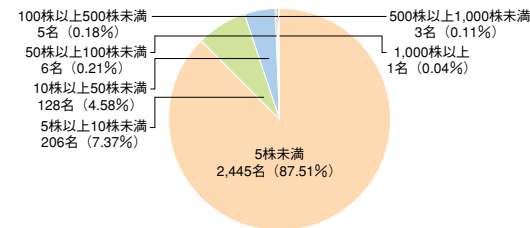
■大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社CSKホールディングス	14,500	56.94
ベリサーブ従業員持株会	870	3.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	844	3.31
ピーエヌピー パリバ セキュリティーズサービス ルクセンブルグ ジャスデック セキュリティーズ	560	2.20
浅井 清 孝	400	1.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	257	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	199	0.78
岩 崎 泰 次	128	0.50
メロンバンク エヌイー トリーテイクライアント オムニス	100	0.39
パークレイズ バンク ビーエルシー パークレイズ キャピタル セキュリティーズ	86	0.34

■所有者別株主分布状況



■所有数別株式分布状況



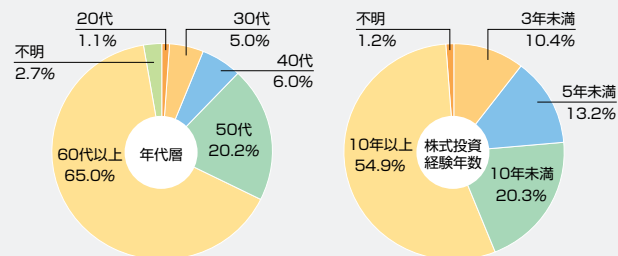
- 商号 株式会社 ベリサーブ
VeriServe Corporation
- 本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
西新宿三井ビル14F
- 設立 2001年7月24日
- 資本金 779百万円
- 従業員数 275名
- 事業内容 製品検証サービス：
IT関連製品(ハードウェア、ソフトウェア)のシステム検証
セキュリティ検証サービス：
ネットワークシステムのセキュリティ分野での検証
その他のサービス

- 役員
- 代表取締役社長 浅井 清 孝
- 取締役 加藤 一 夫
- 取締役 日高 博 美
- 取締役 加治屋 知 和
- 取締役 高橋 豊
- 取締役 福山 義 人
- 常勤監査役 角田 善 弘
- 監査役 梶原 岳 男
- 監査役 清水 康 司

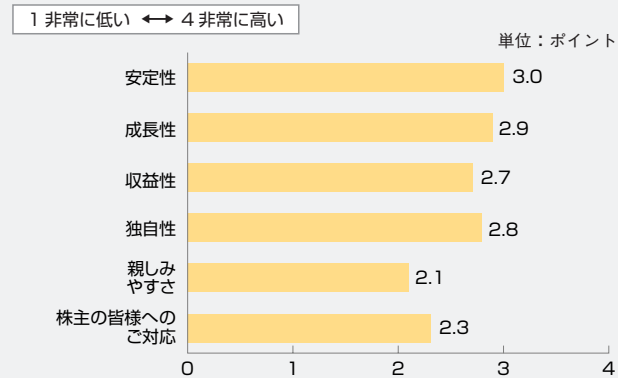
>>> 株主アンケートのご報告

当社では、第7期年次報告書においてアンケートをお願いしました。おかげさまで多数のご回答をいただき、深く感謝しております。アンケート結果要旨につき紙面にてご報告いたします。

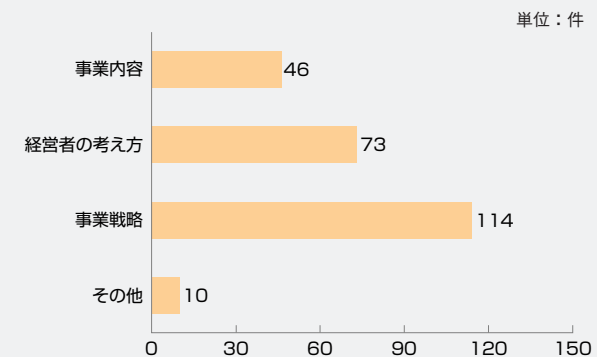
回答者のプロフィール



●当社に対するイメージ



●当社についてお知りになりたいこと (複数回答)



●年次報告書で興味を持った内容 (複数回答)

